

よわあい広場

320号



国家公務員共済組合連合会

平塚共済病院

〒254-8502 平塚市追分 9-11

TEL 0463 (32) 1950

<https://hrt.kkr.or.jp/>

令和6年9月15日 発行



Photo by S.H



■ 基本理念

患者が安心でき、地域から信頼される病院を目指します

■ 基本方針

- ・安全で質の高い医療を提供します
- ・患者の視点を大切に、多様な立場の方にも配慮します
- ・プライバシーを尊重し、医療情報を適切に扱います
- ・地域医療支援病院としての役割を果たします
- ・健全な経営を維持し、必要な医療設備を整えます
- ・職員が働きやすく、活力ある病院を目指します

■ 患者権利・患者責務

患者と医療提供者が信頼関係に基づき協働して医療を実践するために、患者権利と患者責務を以下に示します。

<患者権利>

I 基本的権利

患者の意思が尊重され、主体的に医療に参加できる権利

II 医療における権利

- ・検査や治療を選ぶ権利
- ・十分な説明を受ける権利
- ・医療の内容を知る権利
- ・セカンドオピニオンを求める権利

<患者責務>

- ・自身の健康に関する出来るだけ正確な情報提供
- ・医療に関する主体的な希望の伝達
- ・説明に対して十分納得した上での医療への参加
- ・病院規則の理解および協力
- ・暴言や暴力行為の禁止
- ・受けた医療に対する医療費の速やかな支払い

防災のおはなし

平塚共済病院 院長 稲瀬 直彦

今年は新年早々に能登半島地震がありました。多くの病院や診療所が被害を受け、地域の診療が困難な時期が長く続きました。当院も2011年の東日本大震災において建物や医療設備に支障をきたした経験から、地震や津波を想定した防災活動に取り組んできました。災害発生直後の対応も大切ですが、その後に週単位、月単位で診療を継続することも重要であり、種々の事態を想定した事業継続計画（BCP）を作成しております。

最近では、病院を標的としたサイバー攻撃により医療情報システムが使用不可となる事態が発生しております。徳島県の半田病院の件は大きく報道されましたが、コンピューターウイルス「ランサムウェア」をサーバーに感染後に身代金を要求する悪質なもので、病院は新規患者の受け入れの停止に追い込まれました。再診患者の診療はいわゆる「紙カルテ」運用で継続しましたが、通常診療を再開するまで2か月以上を要しました。このような事案はその後国内外で続いており、医療機関のサイバーセキュリティ対策が喫緊の課題となっております。現在の診療は医療情報システムに大きく依存しておりますが、不測の事態によりシステム障害が発生すれば診療を大きく制限せざるを得ません。以上を踏まえて、当院では職員によるシステム障害時訓練を重ねております。

さて、話は大規模災害に向けた防災に戻りますが、以前、本誌において「防災アクションをしてみませんか」という提案をさせていただきました。アクションは4つありますが、1番目が物資の備え（災害用備蓄、日常備蓄）、2番目が室内における備え（家具の転倒防止、ドア近くのスペース確保）、3番目が屋外における備え（地盤や水害想定での把握、避難経路の確認）、4番目がコミュニケーションという備え（近隣住民および家族との協力）です。いざという時のために防災アクションをアクションカードとしてまとめ、濡れないようにパウチ化して目につく場所に置くのも一案です。

今すぐ始めよう 4つの備え

Action
1

物資の備え

Action
2

室内における備え

Action
3

屋外における備え

Action
4

コミュニケーションという備え

クアスリ

あれこれ



『点眼薬のはなし』

●点眼薬の開封後使用期限とは？●

一般的には1～2か月程度となっており、長い場合でも3か月程とされています。ここで注意すべきは薬剤の本体に記載されている期限は、「未開封」の状態での期限を表しているため、勘違いしないよう注意が必要です。

●点眼薬はなぜ開封後に期限が定められているか？●

点眼薬を開封した時点で「空気に触れる」・「まつ毛や目に触れる」といったことから雑菌が入る可能性があるからです。

●点眼薬開封後の話●

点眼薬の多くには開封後も長持ちするように防腐剤が入っています(薬剤によっては入っていないものもあります)。そのため、開封後も暫くの間は使用が可能となっているわけです。しかしながら、防腐剤が含まれているから長期間使用が可能であるからといっていつまでも使用できるわけではありません。

※注意) コンタクトレンズ着用時の点眼薬使用の可否は薬剤それぞれ異なるため、処方元の医療機関又は薬局の薬剤師へ確認したほうがよいでしょう。

●点眼薬の「1滴」とは？●

点眼薬の1滴は約0.05mL程度とされています。1日1回の使用でも両眼に使用すれば、おおよそ1か月半程度で使い切ることになります。

点眼薬1滴のうち、実際に眼に入る量は0.02～0.03mL程とされ、それ以上は流れ落ちてしまい、使用する意味がなくなってしまうことに注意が必要です。

●点眼薬●

点眼薬も飲み薬と同様にお薬であることに変わりはありません。したがって、しっかりと使い方や保存の仕方をしておくことで、効果的に使用することができます。

今一度お手元の目薬に気を使ってみてはいかがでしょうか。

乳がんの早期発見！ 日曜日にマンモグラフィー検査が受けられます

当院は、NPO 法人 J.POSH の賛同医療機関として、10月20日（日）に乳がん検査を実施します。平日は時間がとれず検査の機会がない女性の皆様！この機会に、乳がん検査を受けてみませんか？

日 時	2024年 10月 20日（日） 9時～16時（休憩 12時～13時）の6時間 1人15分枠で1時間4名（最大24名まで）
場 所	平塚共済病院 放射線科
検査内容	マンモグラフィー（2方向）約10分の検査
検査結果	2週間ほどで郵送いたします。
料 金	5,000円（税込） 当日救急外来窓口にてお支払い ※ 平塚市の無料クーポンは利用できません ※ お釣りのないようご協力をお願いします
受付方法	電話予約のみ 9月30日（月）締め切り ※定員になり次第受付は終了させていただきます。
電話予約 問い合わせ	平塚共済病院 健診センター 0120-330-750 （フリーダイヤル） 電話受付 平日 13：30～16：15

Pink Light Up in Hirakyo

10月はピンクリボン月間です！

ピンクリボン運動をご存知ですか？

乳がんについての正しい知識を広め、検診やセルフチェック等、乳がんの早期発見・早期治療の大切さを伝える活動です。

女性の9人に1人が乳がんにかかる時代。

このイベントをきっかけに乳がんのことを考えてみませんか？

平塚共済病院では、この活動の一環として、外来棟のライトアップを実施します！

2024年

開催日時

10月1日（火）～10月4日（金）

日没～21：00

